

名古屋市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(案)

～市民の皆さまのご意見を募集します～

本市では、少子化・高齢化が進展しており、まもなく人口減少に転じることが予想されます。

そのため、人口減少および人口構造の変化に的確に対応しつつ、名古屋大都市圏の中心都市として、将来にわたり圏域全体の活力を維持していくことを目的として、名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)を策定しました。

市民の皆さまのご意見・ご提案をお寄せください。



■ ご意見の募集期間

平成27年12月25日(金)～平成28年1月25日(月)

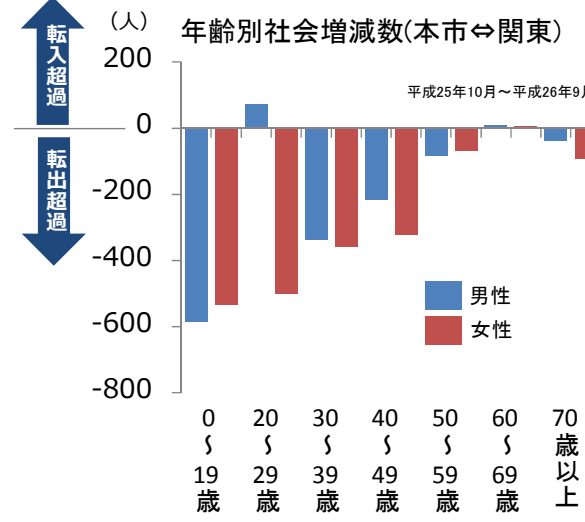
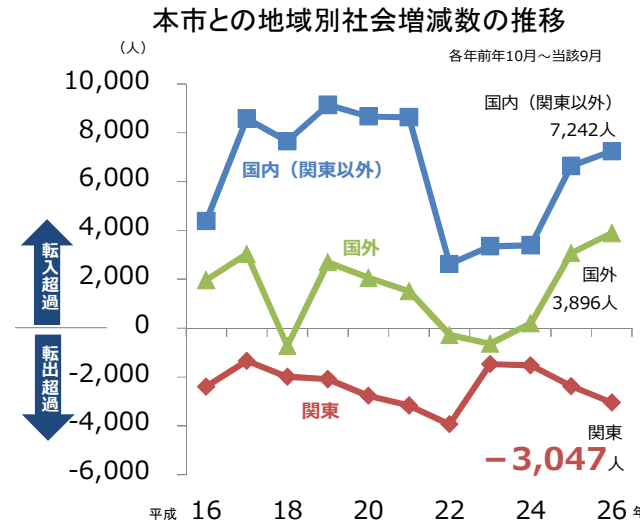
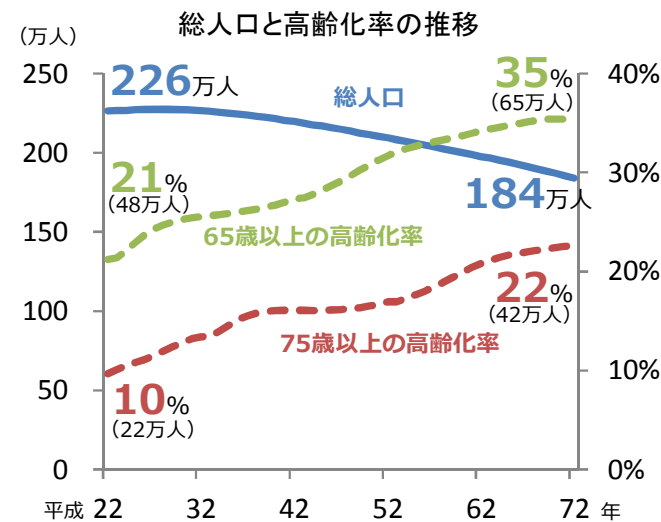
※ご意見の提出につきまして、裏表紙の「ご意見提出用紙」等をご利用ください。

平成27年12月
名古屋市

名古屋市人口ビジョン（案） 概要

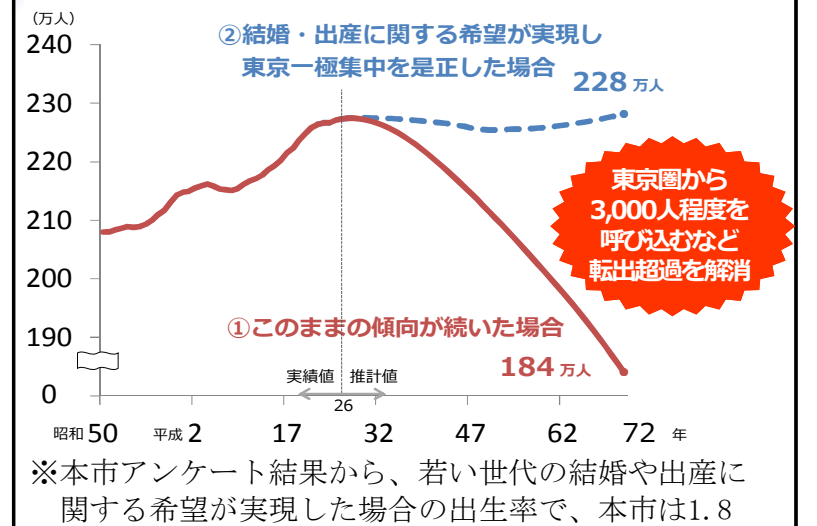
●名古屋市の人口

- ①現在、総人口は増加傾向⇒将来予測では人口減少が進み、少子化・高齢化がさらに拡大
- ②経済的に余裕がないことなどを理由に、未婚化・晩婚化が進行するとともに出生数が減少
- ③主に仕事を理由として、働く世代を中心に関東圏のみ転出超過。特に就職する年代でも女性のみ転出超過



●人口の将来見通し(シミュレーション)

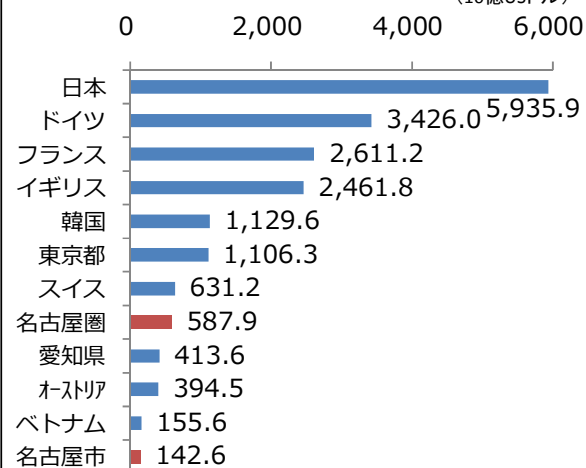
出生率：希望出生率※が平成42年までに達成され、平成52年までに人口置換水準2.07まで向上
社会移動：東京一極集中(本市からの転出超過)の解消
⇒ 228万人程度の人口が確保



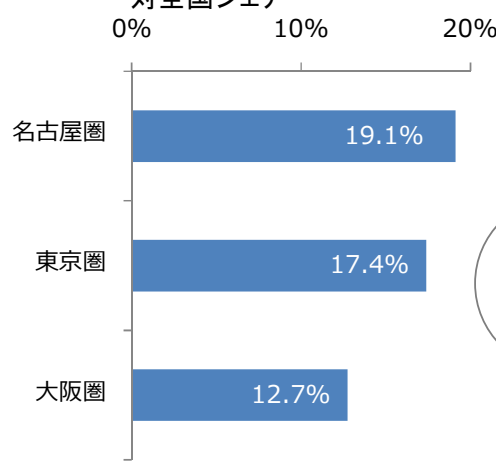
●名古屋市の特長・状況

- ①広域交通ネットワークの結節点に位置し、世界有数のものづくりの中核圏域である名古屋圏の中心都市
- ②リニア中央新幹線開業に伴い交流の活発化が期待される一方、人口や経済活動が東京圏に吸い取られる懸念
- ③本市への人口移動は、名古屋圏外とは雇用状況の悪化、近隣市町村とは地価上昇を契機に転出が増える傾向
- ④出産や子育て期に就業している女性の割合の低下（M字カーブ）は、改善傾向にあるが全国平均は下回る

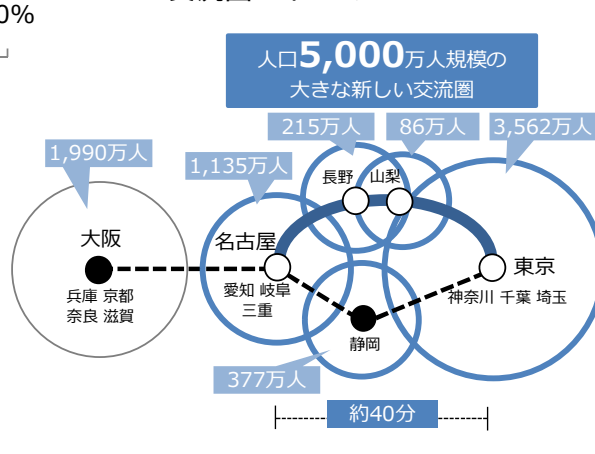
名古屋市の経済規模(市内総生産-名目)
(10億USD)



三大都市圏の製造品出荷額の
対全国シェア

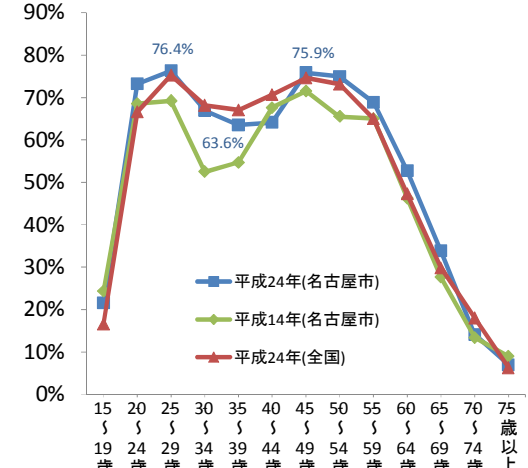


リニア開業後の大きな新しい
交流圏のイメージ



©Central Japan Railway Company. All rights reserved.

女性の年齢階級別労働力率



●課題の整理

結婚の希望の実現、安心して
出産・子育てができる
環境づくりなど
少子化への対応

産業の活性化や雇用の創出、
女性の活躍の場の拡大など
**若い世代の
東京圏への転出超過の解消**

支援が必要な高齢者の増加
への対応、元気な高齢者が
活躍できる環境づくりなど
高齢化への対応

リニア中央新幹線開業に伴う
交流の活発化を圏域全体の
成長につなげる取り組みなど
圏域の活性化

●取り組みの方向性

けんいん
日本を牽引する成長エンジン名古屋大都市圏

国の「まち・ひと・しごと創生法」

成長力の確保

人口減少問題の克服

名古屋大都市圏

産業競争力の強化
交流人口の増加など
圏域の活性化

人口減少
人口構造変化
への対応

1 圏域全体での成長・活性化を目指す

次世代産業の育成など産業競争力の強化
交流人口の増加および観光の振興 など

2 若い世代の希望をかなえる

妊娠・出産・子育てに関する支援の強化
若者が地域に根付く環境づくり など

3 高齢者がはつらつとして暮らせる環境をつくる

元気な高齢者が地域に貢献できる仕組みづくり
地域包括ケアシステムの構築 など

基本
目標

1

産業競争力を活かして
成長を続けるまちへ



戦略を推進するプロジェクト ～Leading Projects～

1 新たな価値の創造

成長産業×価値づくり産業

航空宇宙や医療・福祉・健康産業などの、成長産業分野を重点的に振興。
成長産業と、デザインなどの価値づくり産業が合わさることで、ものづくりにおけるイノベーション創出を加速。



新型喉頭鏡（名古屋市立大学病院等により開発）

主な事業等

- 医療・福祉・健康分野における機器開発の支援
- デザイン・ものづくり交流事業による新たな地域産業の創出支援 など

3 地域経済を支える人材の育成・確保

若者だけでなく、高齢者・外国人などの多様な人材の活躍を促進するため、カウンセリングなどのきめ細かな対応により、効果的なマッチングを推進。
世界レベルのものづくり力を発展させていくための将来を担う人材育成に取り組む。

主な事業等

- なごやジョブサポートセンターなどのきめ細かなジョブマッチングの推進
- 少年少女発明クラブなどによる次世代を担う産業人材の育成

ー具体的な取り組み(施策)ー

I 次世代産業の振興

圏域経済の持続的発展のため、航空宇宙や医療・福祉・健康、ロボットなどの次世代産業分野を振興。
デザインなどのクリエイティブ分野の積極的活用によって、ものづくりに新たな価値を付与する取り組みを推進。

II 地域産業の持続的成長による

域内経済の活性化

意欲を持った中小企業を支援し、競争力を強化。
スーパーメガリージョンのセンターとしての特性を活かすため、産業交流を促進。
女性の活躍推進によって、企業活動に多様な価値観や創意工夫をもたらしていく。

2 新たな挑戦への支援

ー新事業進出支援、創業・起業支援ー

サービス業なども含めた様々な業種の意欲のある中小企業を金融機関、大学、研究機関、行政とのつながりの深化によって支援し、地域経済の好循環を生み出す。
年々増加傾向にある女性起業希望者やソーシャルビジネスの担い手なども支援。

主な事業等

- 挑戦型中小企業創出プロジェクト
- 女性の起業支援などを始めとした創業・起業支援 など

4 女性が輝く社会づくり

すべての女性が活躍できる社会を目指し、企業や従業員の好事例、いわゆるロールモデルの発信などにより、女性が輝く社会づくりを推進。



主な事業等

- 中小企業における女性活躍の推進（女性の活躍推進企業認定・表彰制度の推進）
- 企業女性管理職・起業家による交流会 など

基本
目標

2

観光交流の推進による
にぎわいあふれるまちへ



戦略を推進するプロジェクト ～Leading Projects～

1 訪名外客数250万人を目指した
取り組みの推進

27年上半期の訪名外国人は77万人（推計）となり、前年比52%増で過去最高を記録。
今後、訪名外国人250万人を目指すなど、より意欲的な目標値を掲げて積極的にインバウンド誘致の取り組みを推進。
名古屋圏の現状を分析し、課題を整理したうえで、観光魅力の海外アピールに取り組む。

主な事業等

- 訪名外国人等動向調査を踏まえたインバウンド誘致の戦略的な推進
- なごやめしなどの名古屋の魅力を活かした観光プロモーションの推進
- 名古屋城の整備などによる魅力の向上 など



ー具体的な取り組み(施策)ー

I インバウンドの推進およびMICEの
誘致による圏域の活性化

2020年東京オリンピック・パラリンピックという好機に外国人観光客を増やすため、現状分析、課題整理をし、歴史・文化芸術などを活用しながら、インバウンド推進の取り組みを加速。
グローバルMICE都市として、わが国のMICE誘致を牽引する都市を目指し、地域でのMICE推進の取り組みを推進。

2 おもてなしの充実

観光客が楽しく快適に過ごせるよう、ニーズに対応した受け入れ体制を整備。
地域が一体なった取り組みを推進するため、民間事業者などと連携しながら観光案内や観光客の受入基盤の充実を図る。

主な事業等

- 名古屋駅などにおける観光案内所の強化
- 無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備
- 地下鉄主要駅へのコンシェルジュの配置

3 グローバルMICEの推進強化

近年、アジア・太平洋地域の国がMICEを成長分野と捉えて力を入れるなど、海外も含めた都市間競争が激化。
こうした競争に打ち勝つため、地域魅力を国内外にアピールするプロモーションや開催支援をより強力に展開。
経済効果の高い大型国際会議を始めとしたMICE誘致に取り組む。

主な事業等

- MICE戦略（仮称）の策定に向けた調査・検討
- 国際会議場の機能強化 など

基本目標 3 若い世代の希望がかなうまちへ



－具体的な取り組み(施策)－

I 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり

希望する誰もが安心して子どもを生み育てることができるよう、妊娠から子育てにわたる切れ目のない支援や、地域・企業などと連携した社会全体での子育ての支援に取り組む。

II 若者が活躍できる環境づくり

学校において子どもの針路を応援するとともに、キャリア教育などを通じて一人ひとりの資質や個性を育む。

また、若い世代が、学び、遊び、働けるまちの実現に向け、「学生タウンなごや」を推進。

基本目標 4 高齢者がはつらつとして暮らせるまちへ



－具体的な取り組み(施策)－

I 地域での支えあいの仕組みづくりと地域包括ケア

介護人材確保対策の充実とともに、元気な高齢者などが支援を必要としている高齢者の生活支援や介護の担い手として活躍できる仕組みづくりを推進。また、ちょっとした困りごとを地域住民が手助けする取り組みなど、地域の支えあい活動を推進。在宅医療と介護の連携の仕組みや認知症の方に対する早期サポート体制の構築とともに、要支援者などに多様な生活支援サービスを提供することなどを通じて高齢者のニーズに応え、安心して暮らすことのできる仕組みづくりを推進。

戦略を推進するプロジェクト～Leading Projects～

1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

子育てに関する不安や負担を軽減するため、妊娠・出産・子育てなどの様々な悩みや不安の相談に対応。また、保育所等利用待機児童対策や多様な保育サービスの提供、放課後児童健全育成事業の実施など、安心して子どもを生み育てることができるよう、妊娠から子育てにわたる切れ目のない支援に取り組む。

主な事業等

- 子育て総合相談窓口
- 保育所等利用待機児童対策
- 放課後児童健全育成事業 など

妊娠から子育てにわたる切れ目のない支援



2 社会全体での子育て支援

仕事と子育てとの両立に関する情報提供を行うとともに、企業などにおける両立支援の取り組みを促進。

主な事業等

- 子育てと仕事の両立支援に向けた企業への啓発事業
- 子育て支援企業認定・表彰制度 など

3 一人ひとりの生き方の応援

キャリア教育を推進するとともに、国内外の大学や産業界、地域との連携推進によって、専門性の深化を図る。

主な事業等

- 市立高校と産業界・大学・地域との連携による先端技術習得や専門性の深化
- 子ども応援委員会 など

4 若者の活力による魅力あふれるまちづくり

若い世代が、学び、遊び、働けるまちを実現するため、「学生タウンなごや」を推進。

主な事業等

- 「ナゴ校」の活動支援
- 学生の共同活動拠点(たまり場)の設置 など

戦略を推進するプロジェクト～Leading Projects～

1 元気な高齢者の活躍と地域における支えあいの取り組み

新しい総合事業を実施するとともに、地域の元気な高齢者も参加した、ちょっとした困りごとを抱えた高齢者の手助けなど、地域で見守り、支えあう体制を充実。また、元気な高齢者も介護の担い手となるよう、基礎的な介護技術を習得する研修を実施。高齢化が進む市営住宅においても、団地内コミュニティの活性化を支援。

主な事業等

- 地域支えあい事業
- 市営住宅のコミュニティ活性化 など



2 介護人材の確保

介護人材の確保・定着に向けた取り組みとして、介護職員や有識者の意見を聴取する場を設置。介護職員向けキャリアパスの普及啓発など、長期的展望を持って働くための人材確保対策を検討。介護者の負担軽減に役立つ介護機器・ロボットの開発に向けて現場のニーズを把握するなど開発普及促進に取り組む。介護の担い手の裾野を広げるため、啓発イベントなどを開催。

主な事業等

- 介護人材確保に関する懇談会設置
- 介護機器・ロボットの開発普及促進

3 住み慣れた地域で安心して暮らすための支援

在宅医療・介護連携支援の拠点を設置するとともに、在宅療養者の情報を関係者で共有できるICT(情報通信技術)を活用した情報共有システムを整備。また、関係機関と協力し、24時間365日切れ目なく在宅医療・介護サービスが一体的に提供される体制の構築を推進。認知症に関する専門医療機関を運営するほか、認知症の方とその家族を支援する体制をいきいき支援センターに整備するなど、認知症の方を地域で支える仕組みづくりを推進。

主な事業等

- 在宅医療・介護連携推進事業
- 認知症疾患医療センター運営事業 など

ご意見提出用紙

名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
ご意見・ご提案をお寄せください。

提出方法 郵便・FAX・電子メールのいずれかの方法により下記までお送りいただくか、直接ご持参下さい。

提出期限 平成 28 年 1 月 25 日（月） ※郵便の場合は当日必着

提出先 名古屋市総務局企画部企画課
郵便 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号
FAX 052-972-4418 電子メール somu-kikaku@somu.city.nagoya.lg.jp

ご住所	
お名前	
性 別※	年 齢※ 歳代
ご意見・ご提案	

※印の欄の記入は任意です。

○市公式ウェブサイト（<http://www.city.nagoya.jp/>>市政情報>パブリックコメント）から同様の様式をダウンロードできます。

○意見の提出にあたっては、任意の形式（ご住所・お名前をご記入ください）でも結構です。

○お寄せいただいたご意見・ご提案に対する個別の回答はいたしません。

○お寄せいただいた個人情報は、本業務以外での利用は一切行いません。

本冊子の閲覧場所

●各区役所情報コーナー、支所、市民情報センター、市公式ウェブサイト など

お問合せ先

名古屋市総務局企画部企画課 TEL：052-972-2212

受付時間：月曜日から金曜日 午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分
（年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）及び祝日は除く）

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。